

JPCOARスキーマ詳細解説

JPCOARスキーマ説明会

東京会場（2018/08/06）

神戸会場（2018/09/06）

メタデータ普及タスクフォース

松村 友花（神戸大学附属図書館）

田口 忠祐（東京大学医学図書館）

JPCOARスキーマ策定の基本方針

1. オープンサイエンス・オープンアクセス
方針への対応
2. 識別子の拡充にともなうメタデータ構造
の修正
3. 国際的な相互運用性の向上

1.オープンサイエンス・オープンアクセス方針への対応

- 研究データに対応するため、DataCiteのメタデータスキーマを採用
- 寄与者の種類を属性として記述可能
- 助成機関に関する要素を追加
- コンテンツのオープンアクセスの状態を記述するアクセス権の要素を追加

2.識別子の拡充にともなうメタデータ構造の修正

- 国際的な流通性の高い識別子の採用
- 関連する情報をグルーピング（階層化）
- 識別子間の関係の整理

3.国際的な相互運用性の向上

- OpenAIREのメタデータスキーマ方針を採用
- COARの統制語彙を採用
- OpenAIREの他、DataCite、DC-NDL、Dublin Core、RIOXXの外部のメタデータスキーマを採用

JPCOARスキーマのサマリー

外部スキーマを利用した最上位の要素一覧

スキーマ	要素名	採用理由
DataCite	日付	date
	内容記述	description
	位置情報	geoLocation
	バージョン情報	version
DC-NDL	学位授与年月日	dateGranted
	学位授与機関名	degreeName
	学位授与番号	dissertationNumber
Dublin Core	アクセス権	accessRights
	その他のタイトル	alternative
	言語	language
	出版者	publisher
	権利情報	rights
	時間的範囲	temporal
	タイトル	title
	資源タイプ	type
OpenAIRE	出版タイプ	versionType → version
RIOXX	APC	apc

※ 大園 隼彦他 JPCOARスキーマの策定. 情報管理 vol.60, no.10. 2018. p.722

junii2とJPCOARスキーマの比較

	junii2	JPCOARスキーマ
構造	1階層	3階層
要素数	64要素	79要素（68種類）
移行・内容改訂	21要素	21要素
統合・廃止	43要素	7要素
新規追加・拡張	-	51要素
属性の種類	4種類	15種類
言語属性（使用可能な要素数）	6要素	26要素
言語属性以外（使用可能な要素数）	14要素	29要素
識別子の種類	12種類	28種類
統制語彙（使用する要素・属性数）	5要素	22要素・属性

junii2から統合・廃止された要素

junii2	
著者キーワード	subject
国立情報学研究所メタデータ主題語彙集	NIIsubject
日本十進分類法	NDC
国立国会図書館分類表	NDLC
日本件名標目	BSH
国立国会図書館件名標目表	NDLSH
医学件名標目表	MeSH
デューイ十進分類法	DDC
米国議会図書館分類表	LCC
国際十進分類法	UDC
米国議会図書館件名標目	LCSH



JPCOARスキーマ	
主題	jpcoar:subject

属性として以下の値を選択可能

- BSH
- DDC
- LCC
- MeSH
- NDC
- NDLC
- NDLSH
- SciVal
- UDC
- Other

junii2から統合・廃止された要素

junii2	
内容記述	description
その他の資源識別子	identifier
情報源	source
資源タイプ	type



JPCOARスキーマ	
内容記述	datacite:description

日付	date
刊行年月日	dateofissued



日付	datacite:date
----	---------------

資源識別子URI	URI
JaLCDOI	selfDOI



識別子	jpcoar:identifier
-----	-------------------

junii2からの統合・廃止された要素

junii2	
異版である	isVersionOf
異版あり	hasVersion
置換される	isReplacedBy
置換する	replaces
要件とされる	isRequiredBy
要件とする	requires
部分である	isPartOf
部分を持つ	hasPart
参照される	isReferencedBy
参照する	references
別フォーマットである	isFormatOf
別フォーマットあり	hasFormat



JPCOARスキーマ	
関連 情報	jpcoar:relation

属性として以下の値を選択可能

- isVersionOf
 - hasVersion
 - isPartOf
 - hasPart
 - isReferencedBy
 - references
 - isFormatOf
 - hasFormat
 - isReplacedBy
- (以下、省略)

junii2からの統合・廃止された要素

junii2	
ISBN	isbn
PubMed番号	pmid
DOI	doi
NII論文ID	NAID
書誌レコードID (総合目録DB)	NCID
医中誌ID	ichushi



JPCOARスキーマ	
関連 識別子	jpcoar:relatedIdentifier

属性として以下の値を選択可能

- ARK
- arXiv
- DOI
- HDL
- ICHUSHI
- ISBN
- J-GLOBAL
- Local

(以下、省略)

junii2からの統合・廃止された要素

junii2	
範囲	coverage
時間的	temporal
国立情報学研究所 メタデータ主題語彙集 (時代)	Nlltemporal



JPCOARスキーマ	
時間的 範囲	dcterms:temporal

空間的	spatial
国立情報学研究所 メタデータ主題語彙集 (地域)	Nllspatial



位置 情報	datacite:geoLocationPlace
----------	---------------------------

ISSN	issn
書誌レコードID (総合目録DB)	NCID



収録物 識別子	Jpcoar:sourceIdentifier
------------	-------------------------

JPCOARスキーマで新規に追加された要素

アクセス権	dcterms:accessRights
APC	rioxterms:apc
権利者情報	jpcoar:rightsHolder
バージョン情報	datacite:version
位置情報	datacite:geolocation
助成情報	jpcoar:fundingReference
ページ数	jpcoar:numPages
会議記述	jpcoar:conference

JPCOARスキーマガイドライン サイトの紹介

JPCOARスキーマを知るには？

JPCOARスキーマガイドラインサイト

<https://schema.irdb.nii.ac.jp>

The screenshot shows the homepage of the JPCOAR Schema Guidelines website. At the top, the title "JPCOARスキーマガイドライン" (JPCOAR Schema Guidelines) is displayed in bold black text, with the English translation "JPCOAR Schema Guidelines" below it. To the right of the title is a search bar with the text "サイト内検索" (Search within site) and a magnifying glass icon, and a language selector button labeled "English". Below the title and search bar is a horizontal navigation menu with four items: "スキーマ説明" (Schema Description), "FAQ", "問い合わせ" (Contact Us), and "関連サイト" (Related Sites). The main content area contains two paragraphs of Japanese text. The first paragraph explains that JPCOAR Schema is a new metadata standard developed by the Open Access Repository Promotion Association (JPCOAR) to improve the international interoperability of metadata and facilitate the smooth flow of academic results in Japan. The second paragraph states that the website provides information about the JPCOAR Schema, including the guidelines and FAQ. At the bottom of the page, there is a logo for JPCOAR (Open Access Repository Promotion Association) and a copyright notice for the Open Access Repository Promotion Association.

JPCOARスキーマガイドライン
JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索 🔍 English

スキーマ説明 FAQ 問い合わせ 関連サイト

JPCOARスキーマは、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）が策定した新しいメタデータ規格です。日本の機関リポジトリのメタデータの国際的な相互運用性を向上させ、日本の学術的成果の円滑な流通を図ることを目的としています。

このウェブサイトでは、JPCOARスキーマの説明（ガイドライン）やFAQ（よくあるご質問）といった、JPCOARスキーマに関する各種情報を提供しています。

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

© オープンアクセスリポジトリ推進協会

JPCOARスキーマガイドラインサイトの利用方法

JPCOARスキーマガイドライン JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索



スキーマ説明

FAQ

問い合わせ

関連サイト

JPCOARスキーマは、オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）が策定した新しいメタデータ規格です。日本
ジトリのメタデータの国際的な相互運用性を向上させ、日本の学術的成果の円滑な流通を図ることを目的としています

このウェブサイトでは、JPCOARスキーマの説明（ガイドライン）やFAQ（よくあるご質問）といった、JPCOARスキーマに関する各種情報を提供しています。

J P C O A R

オープンアクセスリポジトリ推進協会

JPCOARスキーマガイドラインサイトの利用方法

JPCOARスキーマガイドライン JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索



スキーマ説明

FAQ

問い合わせ

関連サイト

ホーム

スキーマ項目

タイトル

1 タイトル

その他のタイトル

作成者



- 要素の名称

記入レベル:

○ M・必須 (必ず使用す)

JPCOARスキーマガイドラインサイトの利用方法

JPCOARスキーマガイドライン JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索



スキーマ説明

FAQ

問い合わせ

関連サイト

ホーム / JPCOARスキーマ項目の説明

スキーマ項目

タイトル

1 タイトル

その他のタイトル

作成者

タイトル

◎ 要素名

dc:title

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1-N (繰返可: 必須)

JPCOARスキーマガイドラインサイトの利用方法

説明

- コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。
- コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する。
- タイトルの言語情報はxml:langに記入する。

注意点

- タイトル情報が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記述し、1回までとする。
- 優先度の高い言語表記の順に記入する。
- 目次タイトル、奥付タイトル等がある場合は、dc:terms:subjectTitleに記入する。
- コンテンツが図書の一部（章など）である場合、dc:titleのタイトルはjpcoar:relation（関連）に記入する。
- コミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"とし、片仮名で記述し、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。

推奨例

```
<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title>
<dc:title xml:lang="ja-Kana">ジョウホウ バクハツ シダイ ノ ケンキョウ
<dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era
<dc:title xml:lang="zh-cn">"如果"句的反事实表达浅析</dc:title>
```

非推奨例

- xml:langの指定がない記入は推奨しない。

```
<dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title>
```

- 複数言語の並列表記は推奨しない。

```
<dc:title xml:lang="jaen">
  情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era
</dc:title>
```

- 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名はjpcoar:sourceTitle（収録物名）を使用する。

```
<dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dc:title>
```

- 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。

```
<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title>
<dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>
```

junii2からのマッピング

- title（タイトル）

JPCOARスキーマガイドラインサイトの利用方法

JPCOARスキーマガイドライン JPCOAR Schema Guidelines

サイト内検索



スキーマ説明

FAQ

問い合わせ

関連サイト

ホーム

よくある質問

FAQ

よくある質問

② IRDBのjunii2形式でのハーベスティングはいつまで行われるのですか？

② これまでにリポジトリに登録されたデータはどのような扱いになるのでしょうか？

ご質問いただいた
内容を随時反映さ
せていく予定です。

JPCOARスキーマで利用されている用語の確認

要素と属性

スキーマ項目

タイトル

1 タイトル

その他のタイトル

作成者

寄与者

アクセス権

APC

権利情報

権利者情報

主題

タイトル

◎ 要素名

dc:title

記入レベル: M (必須)
繰返回数: 1-N (繰返可: 必須)

○ 属性

xml:lang

記入レベル: MA (該当する場合は必須)
繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

要素

属性

説明

要素と属性とは？

- 要素とは、XMLにおいて最も基本となる情報単位
- 属性とは、要素に対して付加的な情報を付け加えるために使用され名前と値のペアから構成

<dc:title xml:lang="ja">

情報爆発時代の研究基盤構想 **</dc:title>**

<http://www.atmarkit.co.jp/aig/01xml/element.html>
<http://www.atmarkit.co.jp/aig/01xml/attribute.html>

要素と属性とは？

- 要素とは、XMLにおいて最も基本となる情報単位
- 属性とは、要素に対して付加的な情報を付け加えるために使用され名前と値のペアから構成

要素 名前 値 属性

<**dc:title** **xml:lang="ja"**> 要素の内容

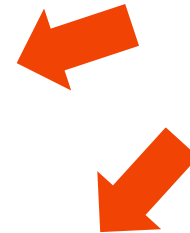
情報爆発時代の研究基盤構想 </**dc:title**>

<http://www.atmarkit.co.jp/aig/01xml/element.html>
<http://www.atmarkit.co.jp/aig/01xml/attribute.html>

記入レベルと繰返回数

スキーマ項目	タイトル
タイトル	
1 タイトル	◎ 要素名 dc:title
その他のタイトル	記入レベル: M (必須) 繰返回数: 1-N (繰返可: 必須)
作成者	
寄与者	
アクセス権	○ 属性 xml:lang
APC	記入レベル: MA (該当する場合は必須) 繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)
権利情報	
権利者情報	
主題	 説明

記入レベル
繰返回数



記入レベルと繰返回数とは？

記入レベル

M (Mandatory)	必須（必ず使用する）
MA (Mandatory when applicable)	該当する場合は必須（該当する情報がある場合は、必ず使用する）
R (Recommended)	推奨（使用が望ましい）
O (Optional)	任意（使用は任意とする）

繰返回数

0-N	繰返可（必須以外）
1-N	繰返可（必須）
0-1	繰返不可（必須以外）
1	繰返不可（必須）

記入レベルと繰返回数 of 記入例

タイトル

◎ 要素名

dc:title

記入レベル: M (必須)

繰返回数: 1-N (繰返可: 必須)

○ 属性

xml:lang

記入レベル: MA (該当する場合は必須)

繰返回数: 0-1 (繰返不可: 必須以外)

`<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤</dc:title>`

`<dc:title xml:lang="en">Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title>`

言語属性とは？

- JPCOARスキーマでは多くの要素において、言語属性が必須となっている。
- 言語属性では、要素の内容の言語を指定する。

言語属性の例

<dc:title **xml:lang="ja"**>情報爆発時代の
研究基盤</dc:title>

<dc:title **xml:lang="en"**>Research
Project on Cyber Infrastructure for
Information-explosion Era</dc:title>

言語属性の例

日本語 ➡ "ja"

`<dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の
研究基盤</dc:title>`

英語 ➡ "en"

`<dc:title xml:lang="en">Research
Project on Cyber Infrastructure for
Information-explosion Era</dc:title>`

- コンテンツ本文の言語を記入するのではなく、要素の内容を表す言語コードを記入する。
- 日本語のヨミは、"ja-Kana"を使用し、ヨミを記入する場合は、xml:lang="ja"の情報を必ず記入する。

統制語彙 controlled vocabularies

- JPCOARスキーマの要素と属性には、自由記述ではなく予め定められた用語を用いるものもある。
- 予め定められた用語 ➡ 統制語彙
- COAR、DataCiteの統制語彙を採用するとともに、独自定義を追加

統制語彙の例

<p>その他のタイトル</p> <p>作成者</p> <div><p>3 作成者</p><p>3.1 作成者識別子</p><p>3.2 作成者姓名</p><p>3.3 作成者姓</p><p>3.4 作成者名</p><p>3.5 作成者別名</p><p>3.6 作成者所属</p><p>3.6.1 所属機関識別子</p><p>3.6.2 所属機関名</p></div> <p>寄与者</p> <p>アクセス権</p> <p>APC</p> <p>権利情報</p> <p>権利者情報</p>	<p>◎ 要素名</p> <div>jpcoar:nameIdentifier</div> <p>記入レベル: MA (該当する場合は必須) 繰返回数: 0-N (繰返可: 必須以外)</p> <p>○ 属性</p> <div>nameIdentifierScheme</div> <p>記入レベル: M (必須) 繰返回数: 1 (繰返不可: 必須)</p> <div><p>目 統制語彙</p><ul style="list-style-type: none">• e-Rad - 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究者番号• NRID - KAKEN研究者ページのID• ORCID - ORCID• ISNI - 国際標準名称識別子 (ISNI: International Standard Name Identifier)• VIAF - バーチャル国際典拠ファイル (VIAF: Virtual International Authority File) の識別子• AID - NACSIS-CAT著者名典拠レコードID• kakenhi - 科学研究費助成事業の機関番号• Ringgold - Ringgold Identifier (Ringgold社の学術機関識別システムの識別子)• GRID - GRID (Global Research Identifier Database) の識別子</div>
---	---

ちょっとその前に…

- これからJPCOARスキーマについての解説では、XMLの構文がいくつか出てきます。
- `<dc:title>…</dc:title>`

ですが、心配は不要です。

みなさんが、XMLの構文を作成するわけではありません！

JPCOARスキーマの 各要素の紹介

1 タイトル

2 その他のタイトル

1 タイトル<dc:title>

- 本タイトルを記入
- コンテンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入
- タイトル情報が複数言語ある場合は、繰り返して記入
- 各言語コードの出現回数は1回まで
- xml:langの指定がない記入は推奨しない

2 その他のタイトル<dcterms:alternative>

- 目次タイトル等の本タイトル以外を記入
- 各言語コードの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入可

3 作成者 <jpcoar:creator>

4 寄与者 <jpcoar:contributor>

共通的な特徴

- 作成者識別子
- 寄与者識別子
- 所属機関識別子

相違点

- 一部の要素名
- 寄与者の役割を示す属性 (contributorType)

3 作成者 / 4 寄与者の比較

要素	属性	要素	属性
3 作成者 (jpcoar:creator)		4 寄与者 (jpcoar:contributor)	contributorType
3.1 作成者識別子 (jpcoar:nameIdentifier)	nameIdentifierScheme nameIdentifierURI	4.1 寄与者識別子 (jpcoar:nameIdentifier)	nameIdentifierScheme nameIdentifierURI
3.2 作成者姓名 (jpcoar:creatorName)	xml:lang	4.2 寄与者姓名 (jpcoar:contributorName)	xml:lang
3.3 作成者姓 (jpcoar:familyName)	xml:lang	4.3 寄与者姓 (jpcoar:familyName)	xml:lang
3.4 作成者名 (jpcoar:givenName)	xml:lang	4.4 寄与者名 (jpcoar:givenName)	xml:lang
3.5 作成者別名 (jpcoar:creatorAlternative)	xml:lang	4.5 寄与者別名 (jpcoar:contributorAlternative)	xml:lang
3.6 作成者所属 (jpcoar:affiliation)		4.6 寄与者所属 (jpcoar:affiliation)	
3.6.1 所属機関識別子 (jpcoar:nameIdentifier)	nameIdentifierScheme nameIdentifierURI	4.6.1 所属機関識別子 (jpcoar:nameIdentifier)	nameIdentifierScheme nameIdentifierURI
3.6.2 所属機関名 (jpcoar:affiliationName)	xml:lang	4.6.2 所属機関名 (jpcoar:affiliationName)	xml:lang

3.1 作成者 / 4.1 寄与者識別子 <jpcoar:namelidentifier>

語彙	解説
e-Rad	府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の研究者番号
NRID	KAKEN研究者ページのID
ORCID	ORCID
ISNI	国際標準名称識別子
VIAF	バーチャル国際典拠ファイル識別子
AID	NACSIS-CAT著者名典拠レコードID
kakenhi	科学研究費助成事業の機関番号
Ringgold	Ringgold Identifier（Ringgold社の学術機関識別システムの識別子）
GRID	GRID（Global Research Identifier Database）の識別子

*8 権利者の識別子も同様

3.6.1 / 4.6.1 所属機関識別子 <jpcoar:nameIdentifier>

語彙	解説
kakenhi	科学研究費助成事業の機関番号
ISNI	国際標準名称識別子
Ringgold	Ringgold社の学術機関識別システムの識別子
GRID	Global Research Identifier Databaseの識別子

寄与者の役割を示す属性 (contributorType)

- ContributorTypeはDataCite※から引用

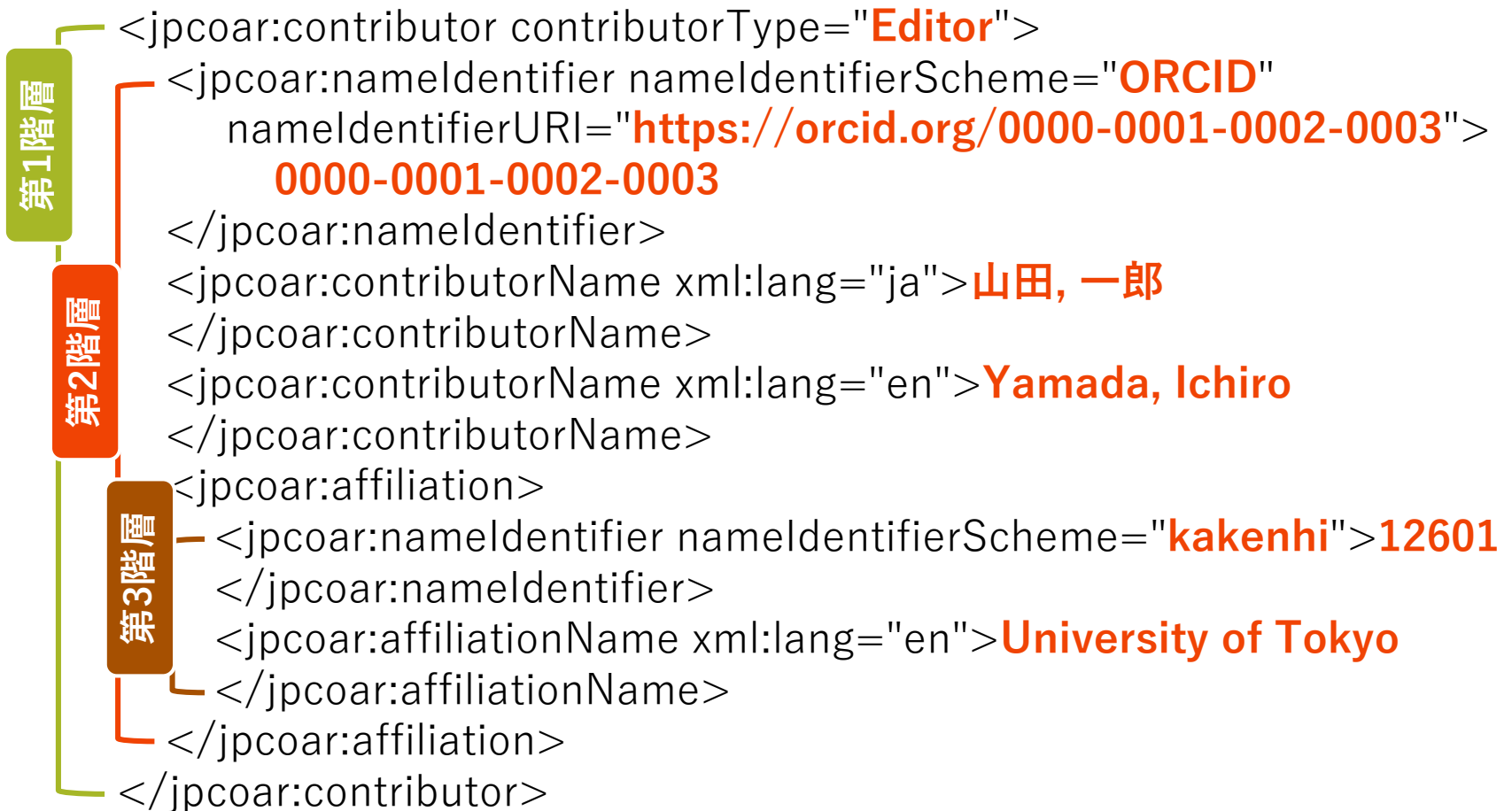
語彙	解説
ContactPerson	連絡担当者
DataCollector	データ収集者
DataCurator	データキュレーター
DataManager	データ維持管理者
Distributor	頒布者
Editor	編集者
HostingInstitution	提供機関
Producer	制作者
ProjectLeader	プロジェクトリーダー

語彙	解説
ProjectManager	プロジェクト管理者
ProjectMember	プロジェクトメンバー
RelatedPerson	関係者
Researcher	調査者
ResearchGroup	調査グループ
Sponsor	スポンサー
Supervisor	監督者
WorkPackageLeader	ワークパッケージ管理者
Other	その他

該当する語彙がない場合は、"Other"を選択

※研究データの正確な特性・引用を目指す国際機関 <https://datacite.org>

寄与者の記入例



5 アクセス権

14 資源タイプ

- COARの統制語彙を採用
- 属性の値には、URIを記述
- 要素の内容に、統制語彙を記述

5 アクセス権は、
エンバーゴ期間終了
後には"open access"
に変更してください。

記入例：アクセス権<dcterms:accessRights>

<dcterms:accessRights

rdf:resource="**http://purl.org/coar/access_right/c_abf2**">

open access</dcterms:accessRights>

記入例：資源タイプ<dc:type>

<dc:type rdf:resource="**http://purl.org/coar/resource_type/c_6501**">

journal article</dcterms:accessRights>

5 アクセス権

14 資源タイプ

- COARの統制語彙を採用
- 属性の値には、URIを記述
- 要素の内容に、統制語彙を記述

5 アクセス権は、
エンバーゴ期間終了
後には"open access"
に変更してください。

記入例：アクセス権<dcterms:accessRights>

```
<dcterms:accessRights
rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">
  統制語彙 open access</dcterms:accessRights>
```




記入例：資源タイプ<dc:type>

```
<dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">
  統制語彙 journal article</dcterms:accessRights>
```

14 資源タイプの統制語彙

資源タイプ語彙別表

Article

- conference paper - 会議発表論文
 - rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_5794 
 - NII資源タイプ(junii2) - Conference Paper (会議発表論文)
- data paper - データ論文
 - rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_beb9 
 - NII資源タイプ(junii2) - Journal Article (学術雑誌論文)
- departmental bulletin paper - 紀要論文
 - rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_6501 
 - NII資源タイプ(junii2) - Departmental Bulletin Paper (紀要論文)

https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/resource_type_vocabulary

14 資源タイプの統制語彙

資源タイプ語彙別表	
統制語彙	日本語名称
Article	URI
• conference paper	会議発表論文
◦ rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_5794	
◦ NII資源タイプ(junii2) - Conference Paper (会議発表論文)	
• data paper - データ論文	
◦ rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_beb9	
◦ NII資源タイプ(junii2) - Journal Article (学術雑誌論文)	junii2のNII資源タイプ
• departmental bulletin paper - 紀要論文	
◦ rdf:resource - http://purl.org/coar/resource_type/c_6501	
◦ NII資源タイプ(junii2) - Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	

https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/resource_type_vocabulary

COARの統制語彙のサイト

http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
journal article

統制語彙

URI

定義

統制語彙の
多言語名称

Definition	
An article on a particular topic and published in a journal issue. (adapted from fabio)	
Property	Value
rdf:type	skos:Concept
skos:inScheme	http://purl.org/coar/resource_type
skos:broader	http://purl.org/coar/resource_type/c_3e5a
skos:exactMatch	http://purl.org/ontology/bibo/AcademicArticle
	http://purl.org/eprint/type/JournalArticle
	http://www.eurocris.org/ontologies/semcerif/1.3#JournalArticle
skos:broadMatch	http://purl.org/info:eu-repo/#semantics/article
skos:narrowMatch	http://www.eurocris.org/ontologies/semcerif/1.3#Journal
	http://www.eurocris.org/ontologies/semcerif/1.3#JournalArticleAbstract
	http://www.eurocris.org/ontologies/semcerif/1.3#JournalArticleReview
Property	Value
skos:broader	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
Property	Value
skos:broader	http://purl.org/coar/resource_type/c_6501
Property	Value
dcterms:modified	2016-09-05T12:00:38Z
skos:definition	http://purl.org/coar/resource_type/def_01dd
skos:relatedMatch	http://purl.org/eprint/type/JournalItem
	http://purl.org/eprint/type/SubmittedJournalArticle

prefLabel	altLabel	Lang
journal article	article journal articles paper	en
学术论文	文章	zh
	期刊文章	
	论文	
	期刊论文	
	學術論文	
artículo	論文	zh
	期刊論文	
	學術論文	
	論文	
	期刊論文	
artículo	artículo científico	es
	artículo revisado por pares	
	artículo científico	
	artículo de revista	
	artículo	
articolo in rivista	articolo	it
article	article scientifique	fr
	article de recherche	
Wissenschaftlicher Artikel		de
журнальная статья	статья	ru
	научная статья	
	публикация данных	
	научная работа	
	публикация	
	журнальные статьи	
	журнальная публикация	
	журнальные публикации	
	статьи в научных журналах	
	публикации	
	статья в научном журнале	
article de revista	article	ca
artigo	artigo em revista	pt
	artigo científico	
wetenschappelijk artikel		nl
研究論文		ja

6 APC <rioxterms:apc>

- OA方針への対応として、研究成果のオープン化の達成度を捕捉するために追加
- RIOXXのスキーマを採用
- 要素の内容は統制語彙から選択

語彙	解説
Paid	支払済み
Fully waived	全て免除
Not required	不要
Partially waived	一部免除
Not charged	無料
Unknown	不明

7 権利情報

- 知的所有権や著作権等に関する情報を含むコンテンツの利用に関する権利情報を記入
- ライセンスにURIがある場合、
rdf:resourceにHTTP URI形式で記入

記入例：権利情報<dc:rights>

<dc:rights xml:lang="en"

rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">

Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights>

7 権利情報

- 知的所有権や著作権等に関する情報を含むコンテンツの利用に関する権利情報を記入
- ライセンスにURIがある場合、`rdf:resource`にHTTP URI形式で記入

記入例：権利情報<dc:rights>

<dc:rights xml:lang="en"

URI

`rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en">`

`Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights>`

Creative Commonsを記入するときは、URIも記入する

ライセンスの正式名とバージョン情報

※省略形で記入しない

9 主題

- コンテンツの内容を表す件名、著者キーワード、分類（コードのみ）を記入
- 属性（subjectSchema）を必ず記入
- 属性の値は、統制語彙から選択
- "Other"については入力規則を定めていないが、1個ずつ繰り返して記述するのが望ましい

記入例：主題<jpcoar:subject>

```
<jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">情報化社会
</jpcoar:subject>
```

```
<jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">社会情報学
</jpcoar:subject>
```



```
<jpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="Other">
    情報化社会, 社会情報学</jpcoar:subject>
```

12 日付 / 35.4 日付

<datacite:date>

- コンテンツに関する日付（12 日付）
- 個別のファイルに関する日付（35.4 日付）
- ISO-8601の3形式で記入
 - YYYY-MM-DD
 - YYYY-MM
 - YYYY

12 日付 / 35.4 日付

<datacite:date>

- 属性（dateType）の記入が必須
- 属性の値は統制語彙から選択

語彙	解説
Accepted	受理日
Available	公開日
Collected	収集日
Copyrighted	著作権発行日
Created	作成日

語彙	解説
Issued	発行日
Submitted	提出日
Updated	最終更新日
Valid	有効期日

12 日付 / 35.4 日付の注意点

- 5 アクセス権で、"embargoed access"を指定した場合は、
 - dateTypeに"Available"を指定する。
 - 利用開始日を記入する。
-
- 学位授与年月日は別要素
 - 32 学位授与年月日
(dcndl:dateGranted)

16 出版タイプ

<openaire:versionType>

- 論文のバージョン情報を記入
- 論文の場合は記入が必須
- メタデータのみの場合は、出版タイプは記入せず、アクセス権（dcterms:accessRights）に、
"metadata only access"と記入



出版タイプの要素（openaire:versionType）と属性の統制語彙は変更予定



詳細は後ほど

17 識別子 <jpcoar:identifier>

- コンテンツ自身のユニークなIDを記入
- 出版者版等のDOIは「19 関連情報」に記入
- 属性（identifierType）を必ず記入
- 属性の値は、統制語彙から選択
- 要素の内容は、属性の値に応じてURI形式で記入
- JaLC DOIを登録する場合は、18 ID登録にも、登録するDOIを「prefix/suffix」形式で記入

語彙	解説
DOI	デジタルオブジェクト識別子（DOI：Digital Object Identifier）
HDL	ハンドルシステム識別子（Handle URL）
URI	統一資源識別子（URI：Uniform Resource Identifier）

18 ID登録

<jpcoar:identifierRegistration>

- JaLC等へIDを登録する場合は記入
- 属性（identifierType）を必ず記入
- 登録するサービスを統制語彙から選択して記入
- JaLC DOIを登録する場合は、登録するDOIを「prefix/suffix」形式で記入
- 17 識別子にも、URI形式で記入

語彙	解説
JaLC	ジャパンリンクセンター（JaLC：Japan Link Center）DOI
Crossref	Crossref DOI
DataCite	DataCite DOI
PMID	PubMed ID（PubMed Unique Identifier）（現在使用不可）

JaLC DOIを登録する場合の記入例

記入例：17 識別子

<jpcoar:identifier identifierType="DOI">

<https://doi.org/10.14946/00002038>

</jpcoar:identifier>

記入例：18 ID登録

<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">

[10.14946/00002038](https://doi.org/10.14946/00002038)

</jpcoar:identifierRegistration>

JaLC DOIを登録する場合の記入例

記入例：17 識別子

<jpcoar:identifier identifierType="DOI">

URI

<https://doi.org/10.14946/00002038>

</jpcoar:identifier>

記入例：18 ID登録

<jpcoar:identifierRegistration identifierType="JaLC">

prefix/suffix

[10.14946/00002038](#)

</jpcoar:identifierRegistration>

DOIの記入形式の違い

表示用：URI形式

- 17 識別子 Identifier
- 19.1 関連識別子 Related Identifier
- 22.1 助成機関識別子 Funder Identifier

登録用：prefix/suffix形式

- 18 ID登録 Identifier Registration

19 関連情報 <jpcoar:relation>

- 登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を記入
- 属性（relationType）の値には、関連性を統制語彙から選んで記入
- junii2では、関連性の値が要素として独立していたが、JPCOARスキーマでは、要素（jpcoar:relation）の属性となった。

relationType="isPartOf"

- シリーズタイトルへのリンク
- 章などから図書全体へのリンク

relationType="isVersionOf"

- 著者最終稿から出版者版へのリンク

19.1 関連識別子

<jpcoar:relationIdentifier>

- 関連するコンテンツの識別子を記入
- 識別子の種類は属性（relatedType）に、統制語彙から選択して記入
- junii2では、関連識別子の値が要素として独立していたが、JPCOARスキーマでは、要素（jpcoar:relatedIdentifier）の属性となった。

relationType="NCID"

- 収録物以外のNCIDを記入
- 収録物のNCIDは23 収録物識別子に記入

relationType="ISSN"

- **原則利用しない** ✖
- PISSN/EISSNの判別が困難な場合のみ使用

22 助成情報

<jpcoar:fundingReference>

- コンテンツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用した助成金情報を記入

22.1 助成機関識別子

- 助成主体の永続的な識別子をURI形式で記入
- 助成機関識別子の種類は、属性（funderIdentifierType）に、統制語彙から選んで記入

語彙	解説	推奨
Crossref Funder	Crossref Funder Registryの助成機関識別子	
GRID	GRID（Global Research Identifier Database）の識別子	
ISNI	国際標準名称識別子（ISNI：International Standard Name Identifier）	
Other	その他	

助成情報の記入例

<jpcoar:fundingReference>

<datacite:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder">

<https://doi.org/10.13039/501100000780></datacite:funderIdentifier>

<jpcoar:funderName xml:lang="ja">日本学術振興会</jpcoar:funderName>

<jpcoar:funderName xml:lang="en">Japan Society for the Promotion of
Science</jpcoar:funderName>

<datacite:awardNumber awardURI="https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-
PROJECT-22227006/">22227006</datacite:awardNumber>

<jpcoar:awardTitle xml:lang="ja">RNA修飾が支配する遺伝子発見調節機構
の探求と高次生命現象</jpcoar:awardTitle>

<jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Post-transcriptional regulation accociated
with RNA modifications responsible for higher order biological processes
</jpcoar:awardTitle>

</jpcoar:fundingReference>

助成情報の記入例

22 助成情報

22.1 助成機関識別子

<jpcoar:fundingReference>

<datacite:funderIdentifier funderIdentifierType="Crossref Funder">

<https://doi.org/10.13039/501100000780></datacite:funderIdentifier>

<jpcoar:funderName xml:lang="ja">日本学術振興会</jpcoar:funderName>

<jpcoar:funderName xml:lang="en">Japan Society for the Promotion of
Science</jpcoar:funderName>

22.2 助成機関名

<datacite:awardNumber awardURI="https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-

PROJECT-22227006/">22227006</datacite:awardNumber>

22.3 研究課題番号

<jpcoar:awardTitle xml:lang="ja">RNA修飾が支配する遺伝子発見調節機構
の探求と高次生命現象</jpcoar:awardTitle>

<jpcoar:awardTitle xml:lang="en">Post-transcriptional regulation associated
with RNA modifications responsible for higher order biological processes

</jpcoar:awardTitle>

22.4 研究課題名

</jpcoar:fundingReference>

助成団体が提供する当該の助成に関する
詳細情報は属性の値にURI形式で記入

23 収録物識別子

<jpcoar:sourceIdentifier>

- 収録物に付与された識別子を記入
- 属性 (identifierType) を必ず記入
- 属性の値は統制語彙から選択
- ISSN、NCIDがある場合は必ず記入
- 収録物のISSNやNCIDは17 識別子<jpcoar:identifier>ではなく23 収録物識別子<jpcoar:sourceIdentifier>

語彙	解説
PISSN	冊子版国際標準逐次刊行物番号
EISSN	電子版国際標準逐次刊行物番号
ISSN (非推奨)	国際標準逐次刊行物番号
NCID	NACSIS-CAT書誌ID

35 ファイル情報 <jpcoar:file>

- コンテンツ本体に関する情報を記入

35.1 本文URL <jpcoar:URI>

- コンテンツ本体ファイルをURI形式で記入
- 属性（objectType）には、統制語彙から選択して記入
- ファイル名がある場合には、属性（label）に記入

語彙	解説
abstract	抄録・要旨
fulltext	全文
summary	要約
thumbnail	サムネイル
other	その他

35 ファイル情報 <jpcoar:file>

35.5 バージョン情報 <datacite:version>

- データのバージョン番号
- データのみに使用
- メジャーバージョン変更の場合は、新しいコンテンツとして別途メタデータレコードを作成
- 19 関連情報に旧バージョンとの関連性を記述

ファイル情報の記入例

<jpcoar:file>

<jpcoar:URI objectType="other" label="abcd_data">

<https://xxx/xxxx/xxxx/abcd.zip></jpcoar:URI>

<jpcoar:mimeType>application/zip</jpcoar:mimeType>

<jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent>

<datacite:date dateType="Created">2016-01-01</datacite:date>

<datacite:version>1.2</datacite:version>

</jpcoar:file>

ファイル情報の記入例

35 ファイル情報

<jpcoar:file>

35.1 本文URL

<jpcoar:URI objectType="other" label="abcd_data">

https://xxx/xxxx/xxxx/abcd.zip</jpcoar:URI>

35.2 フォーマット

<jpcoar:mimeType>**application/zip**</jpcoar:mimeType>

<jpcoar:extent>**3MB**</jpcoar:extent>

35.3 サイズ

<datacite:date dateType="Created">**2016-01-01**</datacite:

35.4 日付

<datacite:version>**1.2**</datacite:version>

35.5 バージョン情報

</jpcoar:file>

博士論文について

- 5 アクセス権<dcterms:accessRights> → "open access"
- 14 資源タイプ<dc:type> → "doctoral thesis"
- 16 出版タイプ<oa:version> → "VoR"
- 30 学位授与番号<dcndl:dissertationNumber> → 所定の形式で値を記述
- 31 学位名<dcndl:degreeName> → 値を記述
- 32 学位授与年月日<dcndl:dateGranted> → 所定の形式で値を記述
- 33 学位授与機関<jpcoar:degreeGrantor> → 所定の形式で値を記述
- 35.1 本文URL<jpcoar:URI> → URLを記述、objectType属性 → "fulltext"

※JPCOARスキーマガイドラインサイトFAQ
<https://schema.irdb.nii.ac.jp/ja/faq/cat-a/89>

JPCOARスキーマ v.1.0.1

16 出版タイプの要素名の変更

- openaire:versionTypeから変更
- OpenAIREが変更を予定していたため追随

現在の要素名

openaire:versionType



変更後の要素名

oaire:version

出版タイプの統制語彙の変更

語彙	解説
AO	Author's Original（十分な品質であるとして、著者から正式な査読に提出される版。）
SMUR	Submitted Manuscript Under Review（社会的に認知された出版組織によって正式な査読中の版。）
AM	Accepted Manuscript（出版雑誌の一論文として受付されたもの。内容とレイアウトは出版社の投稿様式に沿ったもの。）
P	Proof（AMとVoRの間で、出版過程で作られるもの。内容はAMから変更されており、レイアウトは出版社のもの。）
VoR	Version of Record（出版社版。早期公開を含む。）
CVoR	Corrected Version of Record（VoRの誤りが修正された版。）
EVoR	Enhanced Version of Record（VoRの更新版。または補足資料が付いた版。）
NA	Not Applicable (or Unknown)（適用外。または不明。）

JPCOARスキーマ v.1.0.1の公開

- 出版タイプの変更
- 誤記と思われる事項を修正
- GitHubにて公開中

<https://github.com/JPCOAR/schema/>

さいごに


実際に

- みなさんが、XMLを作成するものではありません。
- みなさんが、統制語彙などを入力するわけではありません。
- 入力は、リポジトリシステムがサポートしてくれるはずです（ある程度は…）。

あまり、心配はしないでください。

新IRDBでのハーベスト結果を確認してください。
junii2からJPCOARスキーマへの移行イメージがつかめるはず！

- JPCOARスキーマガイドラインサイト
<https://schema.irdb.nii.ac.jp>
- JPCOARスキーマ
<https://github.com/JPCOAR/schema>
- JPCOAR メタデータ普及タスクフォース
irtf_metadata@nii.ac.jp



お問合せ
フォームも
あります。